



あの手この手で住み続ける地域住民を応援する取組

大川内地区コミュニティ協議会
鹿児島県出水市



1. 鹿児島県出水市大川内地区の概要
2. 大川内地区コミュニティ協議会の取組
3. 振り返りと今後の課題について

大川内地区コミュニティ協議会



米ノ津川



正現の棚田



坂元の桜並木



東雲の里



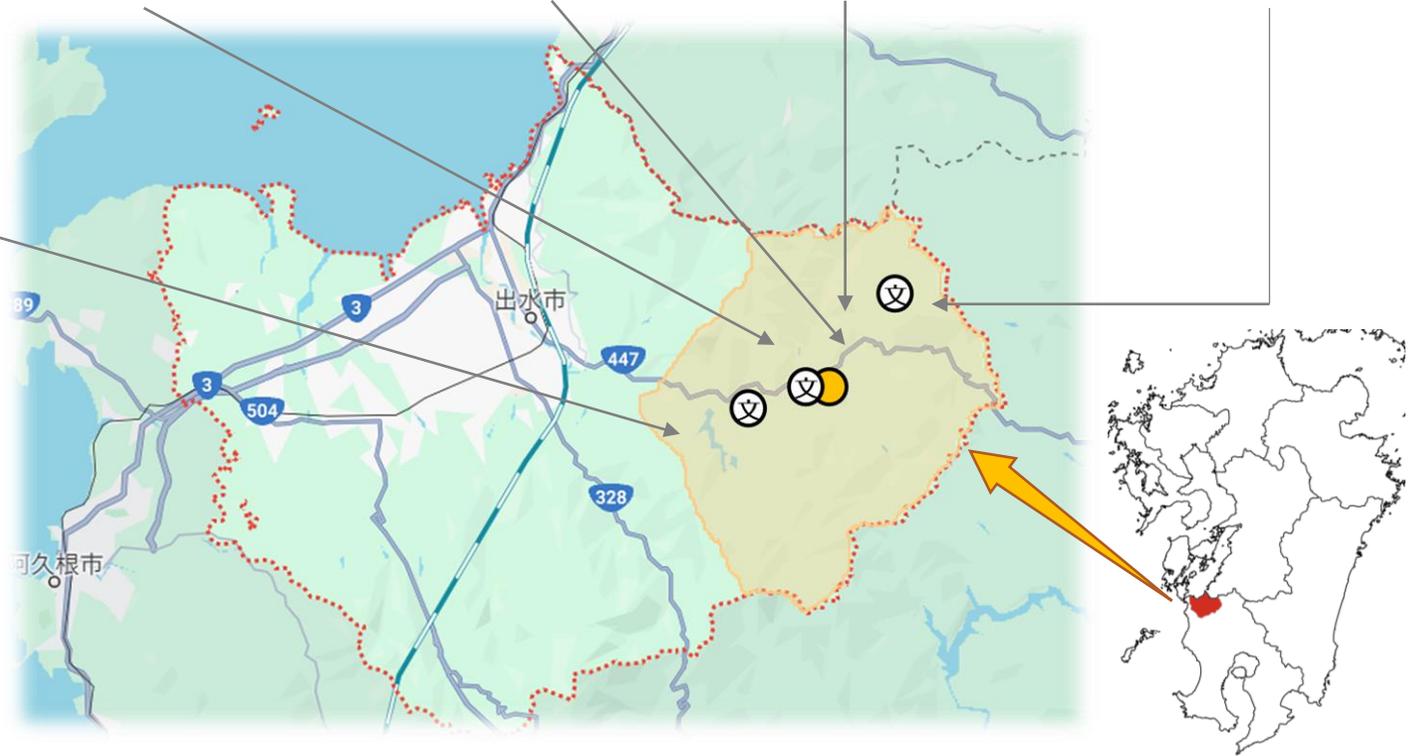
上場高原コスモス園



高川ダム



九州オルレ



鹿児島県出水市の北東の里山地区（北は熊本県水俣市、東は鹿児島県伊佐市）
東西に13km、南北に12km 面積 85.44km²（出水市の25.8%） 森林が大半、米ノ津川上流
国道447号線、県道118号線 市役所まで11km 自然豊かな里山

大川内地区の基本情報

人口 637人 (R5.9.1)

世帯数 367世帯

高齢化率 57.45%

自治会数 15自治会

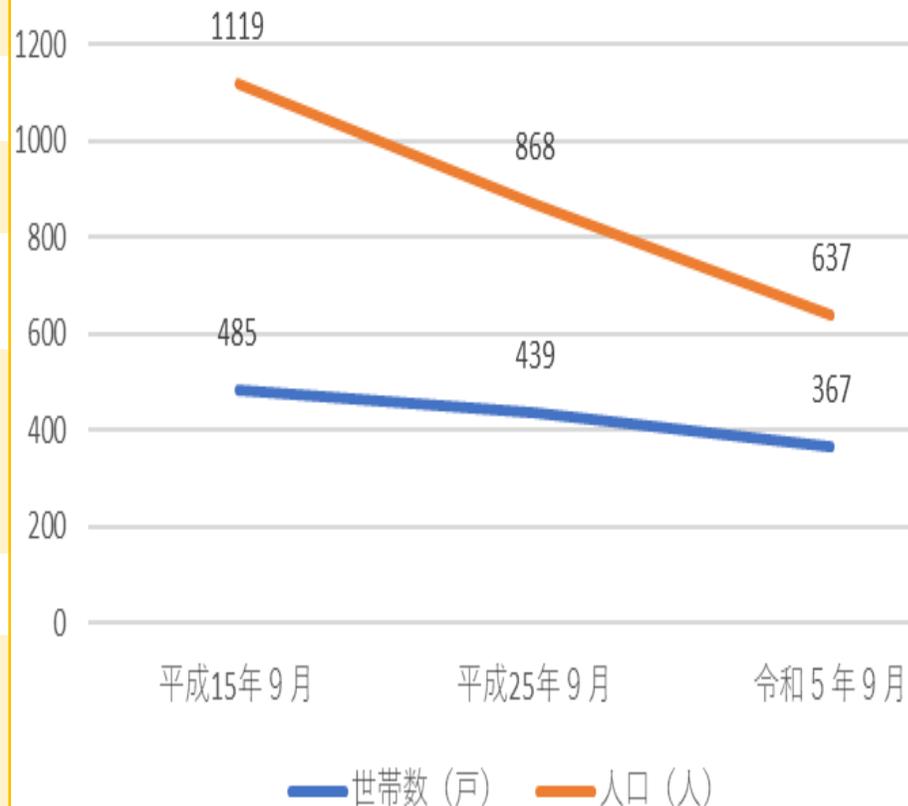
自治会加入率 85.29%

教育施設 上場小学校 (8人内地元1名)
(小規模特認校) 大川内小学校 (56人内地元6名)
大川内中学校 (23人内地元11名)

主な産業 農業

公共施設 郵便局、JA出張所、
トレーニングセンター
(病院、スーパー なし)

大川内地区人口推移



人口減少に危機感。20年前より7割人口減少したという自治会は2自治会。
高齢化率が90%の自治会をはじめ、5自治会は7割が高齢者という実態。

大川内地区コミュニティ協議会

平成29年4月27日

総会を実施し、15自治会からなる地区コミュニティ協議会が発足する。

- ・地域づくり部会・健康づくり部会
 - ・環境づくり部会・人づくり部会
- 4つの部会で活動開始

協議会設立

平成29年 8月

旧Aマートにコミュニティ協議会の事務所を置く。

地域の拠点の一步

事務所開設

平成29年 12月

拠点に関する住民アンケート調査

- ・買い物の場がない
- ・憩いの場がほしい

住民アンケート

7年間

沢山の活動を実施中

取組

2017

ひとつの自治会では出来ない事を15自治会の協力でやってみよう



大川内地区の拠点として、住民が住みよい地域となる取組を進めていこう

2023

1. 鹿児島県出水市大川内地区の概要
2. 大川内地区コミュニティ協議会の取組
3. 振り返りと今後の課題について

大川内地区コミュニティ協議会

いきがい助け合いサミットin東京 ポスターセッション参加（令和4年9月）

これまでの大川内地区コミュニティ協議会の活動の中から、住民が定期的に拠り所となる活動をまとめてポスターを作成した。

住み続ける地域住民を応援する取組

- 1) 茶いっぺ市場 毎月第4火曜日
- 2) 買い物バスドライブサロン 第2木曜
第3木曜
- 3) サロン活動 毎月第1木曜日
- 4) 健康体操教室 毎週 火曜日
- 5) 高齢者向けお弁当配達 年3回



茶いっぺ市場（毎月第4火曜日 10時～12時）

地域住民が持ち寄ったお米、新鮮野菜、惣菜、工芸品の販売を大川内地区コミュニティ協議会で実施する。2018年3月から実施。



【きっかけ】

買い物の場がないというアンケート調査から、お試し販売を実施して継続活動になった。コロナ前は、買い物後に無料お茶コーナーを設置し、憩いの場を提供していた。（コロナでお茶コーナーは廃止した）

【効果①】

地域で美味しいと話題の大川内米を販売できるようになった。ちょっとした家庭菜園の野菜をはじめ、味噌や蒟蒻など特産品、季節商品の山太郎蟹、鮎も販売している。ほうきなどの工芸品も人気を集める。

【効果②】

人が集う場として賑わいがある。大川内でここのでしか買えない物を購入できると重宝されている。

ドライブサロン買い物バス（第2木、第3木）

生活支援体制整備事業の取組として、出水市、出水市社会福祉協議会、2社の社会福祉法人（興正会、鶴寿会）の協力で実現。車を持たない大川内地区の高齢者が対象。参加者は、大川内の地区から市街地のスーパーまでの道のりをドライブ中はおしゃべりをしながら、目的地では買い物を楽しむ。2019年から実施。



【補足】

各社会福祉法人が、月一回ずつ車両を提供しての運行。さらに、運転手と添乗者の応援も無償提供。生活支援コーディネーターも乗車して見守り活動にもなっている。

参加者は料金無料

【効果】

車がない方が大きな買い物もできると喜ばれている。

友人と月に一度おしゃべりしながらの買い物がうれしいという声がある。

サロン活動（第1木）、健康体操教室（毎週火曜）

65歳以上の高齢者の通いの場としてサロン活動を15自治会どなたでも通える場として、提供している。サロンは2018年から、体操は2021年から実施。



【きっかけ】

- ・大川内地区ではサロン実施自治会が2自治会だったため、広域で集まって活動できる場を提供した。
- ・体操は、DVDを見ながら筋トレするノウハウを市内の地区コミが伝授を受けて実施したところ、続けたいという参加者の声で週1回を継続している。

【効果】

- ・手作業をすることが好きな方たちが集まり、工作等を楽しんでいる。コミ協のイベントでお弁当づくり等の配膳も活動の担い手となり喜んでいる。
- ・参加者は週一回の介護予防体操の効果を実感して、継続参加している。

高齢者向けお弁当配達（年3回12月～2月実施）

2020年より実施。15自治会を3地区に分け、概ね70歳以上の高齢者に向けてお弁当の注文を行い、見守り配達を行う。配達は、自治会長、民生委員が担い、料理づくりはサロンメンバーが実施。食材の提供は地域の方、企業からの提供がメインで、年に一度の御馳走弁当配達を実施している。（料金300円）



【きっかけ】

・地域食堂ひつついこっぱい大川内を立ち上げたが、コロナ禍により活動はできない状況だった。一方、高齢者は遠方の家族が帰省できず、孤独な状況であったことから、高齢者を元気づける御馳走弁当をつくることとなった。

【効果】

- ・年に一度を楽しみにしている高齢者が多数で大変喜ばれている。
- ・食材も誰からの提供であるとお品書きに記載していることから、顔の見える関係性が食で実感できる。
- ・食材提供を申し出る地域住民が多数いる。

1. 鹿児島県出水市大川内地区の概要
2. 大川内地区コミュニティ協議会の取組
3. 振り返りと今後の課題について

大川内地区コミュニティ協議会

振り返り

○紹介した5つの活動以外にも様々な活動をしている。

★困りごと

➡ 活動者は集中する。一人が何役も担っている。

☆継続のコツは

➡ 小さくはじめて、参加者の声を聞き広げる。

➡ こればかりにならないように。

○担い手も参加者も高齢者

➡ 無理なく、どちらも笑顔の取組を！

今後の課題

○大川内地区で住み続ける地域住民を応援する取組

→ 有償ボランティアのしくみづくりが必要ではないか

☆2023年度 住民アンケートを行い、勉強会を開催した。

☆「てげてげふれあい助け隊」を発足し、活動予定

日々の活動SNSにて発信中

○WEBサイト



<https://sites.google.com/view/ookawautitikucomkyo>



○フェイスブック



@ookawauticomikyo



○インスタグラム



Instagram



@ oookawauti comkyo
ookawauti.comkyo



ご清聴ありがとうございました。

大川内地区コミュニティ協議会

